

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課	■担当係	商業係
■評価事業名称	出会い・ふれあい街なか交流事業		
■評価事業コード	060200 - 197	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	03 活気ある商工業の振興	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の概要	東日本大震災を機にお互い支え合うことで、人との繋がりが必要であるということを再認識したところであるが、市民の交流の機会が少ないのが現状である。そこで、地域の一体感と地域力の向上を図ることを目的に、気軽に集い触れ合う機会を創出し、同時に、中心市街地で展開することにより街なかに人を呼び込み、活気を生み出し、商店街等の賑わいづくりを図る。多様な形態の交流の場を創出する。①若者、シニア世代等、世代別の交流 ②企業間交流 ③避難者、転勤者の交流 ④国際交流		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	出会い・ふれあい街なか交流事業	市民		交流事業:4回 街コン、婚活パーティー、企業間交流ボウリング大会、facebook講座

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費				9,818	
人件費				2,046	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				11,864	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	商店街歩行者数(本通り二丁目)	590人	1,167人	1,056人	970人	7月第2金曜日7時から19時まで調査
02	商店街空き店舗数	40件	45件	40件	41件	10月1日時点

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

世代別交流、企業間交流、その他市民に係る交流イベントを開催し、出会いの場を創出すると共に街中の活性化を図った。市内中心部や飲食店を会場に交流イベントを開催することで平成25年以降通行量が増加し、これにより空き店舗数が減少するものと思われる。

問題点・課題等

平成26年度までの事業実施であることから、委託先である北上商工会議所内で継続できる仕組みを探る必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明